

サイバーセキュリティ パートナーシップだより



令和3年9月10日 山口県警察本部生活環境課

パソコンの偽警告画面にだまされないで!

パソコンにMicrosoft（マイクロソフト）をかたって「ウイルスに感染しました」「解決するにはサポートセンターに電話をしてください」等の音声入りの偽警告画面を表示させ、電話をかけた者に対して、電子マネーカード等でサポート料金の支払いを要求する「サポート詐欺」の被害が多発しています。突然警告画面が表示されても慌てずに、次の対処方法を取りましょう。

実際の警告画面 (Windows の場合)

インターネット検索をしていて、突然警告画面が表示されるのは、悪意のある不正なサイトや広告バナー等をクリックしたことが原因です。

画面表示とともに音声で「ウイルスに感染しました」「このウイルスはクレジットカード情報等をハッカーに送信します」「フリーダイヤルで当社に今すぐお電話してください」「マイクロサポートエンジニアがお電話でウイルスの削除方法を教えます」「お電話をせずに画面を閉じるとパソコンを無効にします」等と案内し、「電話をかけないと復旧しない」と誤信させ、言葉巧みに電話へと誘導させます。

※「ウイルスに感染したので、すぐに電話をしてください」等の警告は偽の警告です！決して電話をかけるはいけません！！

「偽」警告画面はキーボード操作で解決できます!

偽警告画面は、マウス操作だけでは消せないようにプログラミングされています。
また、警告画面を消そうとしてマウス操作を行うと自動的に全画面表示（フルスクリーンモード）になるなどして、思うように画面操作ができなくなることがあります。
そんな時は、キーボードのショートカットキーを有効活用しましょう。



方法その① キーボード左上の[Esc](エスケープ)キーを押すと全画面表示が解除されるので、画面上のスタートメニューから再起動を行う。

方法その② キーボード左下の[Windows](ウィンドウズ)キーを押してスタートメニューを表示させ、再起動を行う。

電話をかけると片言の日本語を話す外国人と思われる人物が対応します。

「電話は切らずに、近くのコンビニですぐに電子マネーカード(例Googleプレイカード、アマゾンギフトカード、iTunesカード等)を買ってきてください。」

などと言われた場合は、すぐに電話を切ってください。



【被害防止対策】

○ **市販のセキュリティ対策ソフトをインストールしましょう!**

悪意のあるサイトや詐欺サイトへアクセスしようとした際に、警告画面を表示してくれます。ただし、セキュリティをかいくぐって表示されてしまうものもあるため、注意は必要です。

○ **詐欺の手口を知ってください!**

インターネット上には、数多くの偽サイト・詐欺サイト情報が紛れ込んでいます。最新の詐欺の手口や被害に遭わないための対策等については、警察や各関係機関から様々な広報資料が発出されていますので参考にしてください。

○ **一人で悩まない!**

警告画面が消えない場合や電話をかけてしまった場合は、一人で悩まず、家族や警察、専門業者等に相談してください。

山口県警察サイバー犯罪相談窓口

TEL 083-922-8983

mail cyber.soudan@police.pref.yamaguchi.lg.jp

研修会の依頼は警察署又は警察本部生活環境課まで

日本サイバー犯罪対策センター(JC3)のホームページでサポート詐欺の注意喚起動画が紹介されています。

詳しくはこちら 

